

毎月第一月曜日は

「3つの町民運動」の日



あいさつ運動

おはようございます！
小学校と中学校、高等学校が連携し、朝のあいさつを交わしています。

読書運動



乳幼児期から本とふれあい、
親しむ機会をもつことで、本好きな子どもが育ちます。

香美町教育委員会では「ふるさとに学び、夢や志を抱き、ふるさと香美を大切にする人づくり」を基本目標とし、家庭・地域・学校・教育委員会が一体となって取り組む「3つの町民運動」をすすめています。

この運動の輪を広げるため、毎月・第一月曜日を「3つの町民運動」の日として呼びかけています。

月に一度「3つの町民運動の日」に今までの取組をふり返り、さらに一緒にがんばいましょう！

香美町 トリフルチャレンジ大作戦

◆ねらい



小規模校の子どもたちを集め、学校園の内外において多人数での合同授業や交流学習などの学習機会を様々な場面でつくることにより、子どもたちの「生きる力」の育成を図る

町内のほとんどの小学校は1学年1学級の小規模校で、友だちの数が少なくなっています。子どもたちの育ちを考えた場合、保護者は次のような不安を持っていることがわかりました。

①入学から卒業まで同じ人間関係が続くことにより、友だち関係の固定化や序列化などの不安

②多人数による教育や集団活動が制約されるため、多様な授業ができるのではないかという不安

③切磋琢磨の機会が少なく、主体性・積極性や望ましい競争心の育成不足

このような保護者の不安を克服していくため、きめ細かな指導のできる小規模小学校、各小学校に併設された幼稚園、小学校区ごとに配置された地区公民館などの教育資源を生かした、香美町ならではの下記の3つの事業を実施し、「香美町トリフルチャレンジ大作戦」と総称して展開します。



幼・保・こども

学校間スーパー連携チャレンジプラン
就学前わくわく交流会



小学校

学校間スーパー連携チャレンジプラン
学力向上ステップアップ授業



公民館・地域

土曜チャレンジ学習事業

◆方法

- 4つのグループに分かれて、年間10回程度の交流学習を実施。
- 4歳児と5歳児の年齢別の交流により、多人数の交流体験を実施。

◆内容

- 友だち関係の固定化の解消を図る。
- 多くの友だちと関わりながら、コミュニケーション能力の育成を図る。
- 山、海の感動体験を通して生きる力を培う。

◆指導

- 複数の指導者が役割を分担し、複数指導により、多人数の効果的な学習を行う。

◆方法

- 9小学校が2つのグループに分かれ、それぞれのグループの中で連携し合い、年間10回程度、30時間程度の合同による多人数授業を実施。
- 上記以外に5年生の自然学校（4泊5日）や6年生の修学旅行（1泊2日）など、合同で実施。

◆内容

- 単学級による人間関係の固定化を解消し、学習形態を工夫することにより、学習に対する興味関心や学習意欲を高め、学力の向上を図る。
- 人間関係を構築する力やコミュニケーション能力を伸ばし、社会性を育成。
- 多様な考え方方にふれたり、自分の考え方を伝えたりすることで、表現力や思考力を高める。

◆指導

- 複数の教員が役割を分担し、複数指導により児童の個人差に応じたきめ細かな指導や効果的な授業を行う。

◆方法

- 中央公民館を拠点に、土曜日等に香住区と村岡・小代区で、年間10回程度、体験学習を実施。
- 異なる集団の中で、自主性・主体性を高める活動を通して、たくましさを身に付ける。

◆内容

- 異学年・異学年の小学生たちが校外で体験活動を通じて交流。
- ふだんとは異なる集団の中で、自主性・主体性を高める活動を通して、たくましさを身に付ける。

◆指導

- 地域の大人、高校生が講師となり、地域資源を教材にして子どもたちに地域の価値を見出す学習を行う。



ステキな親子10カ条

「小学校用」

子育ての基本は家庭 親育ち子育ち共に学びあい

香美町内小学校では、子どもたちが集団生活の中で健やかに成長することを願い、よりよい環境、さまざまな体験などを通して、基本的生活習慣などが身に付くよう取り組んでいます。その実施にあたっては家庭の協力がぜひとも必要です。そこで下記のことを、学校と保護者が 一体となって真剣に取り組みたいと思いますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。



「小学校用」以外に「認定こども園・保育所用」「幼稚園用」「中学校用」もあるよ！

ステキな親子 10 カ条（3つの町民運動）

1 早寝 早起きをしよう

・成長ホルモンが一番分泌されるのは夜中頃、規則正しい生活リズムが元気の源です。

2 家族で朝食を食べよう

・家族と一緒に食べると食欲が増します。好き嫌いをなくすることが健康な体づくりの基本です。
・食べないと脳が働かず、根気、集中力に欠け、落ち着きがなくなり学力の低下にもつながります。



3 あいさつをしよう

・その場にあったあいさつが子どもに身に付くよう、まず大人からしましょう。
・「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」も大切なあいさつです。

4 親子で会話を楽しもう

・「後で」は、子どもの心は寂しさでいっぱい。言葉のキャッチボールで気持ちが満たされます。
・携帯電話、メール交換、ゲームに夢中になり過ぎないようにしましょう。

5 お手伝いをしよう

・お手伝いに参加させ、家族の一員として役に立っている喜びや感謝の気持ちを伝えましょう。
それが次の意欲につながります。また、やり通することで子どもの忍耐力が養われます。

6 親子で読書を楽しもう

・興味のある本や年齢に応じた本を身近な所に置いておくと、読書への意欲に結びつきます。
・親子で読書を楽しみ、読んだ後も家族で楽しみをわかつ合いましょう。

7 交通ルールを守ろう

・飛び出しやひとり歩きは事故のもと。自転車の安全点検、ヘルメットの着用で子どもを守りましょう。

8 戸外で元気よく遊ぼう

・テレビゲームは時間を決め約束を守りましょう。また体を動かすと体力向上、脳の活性化につながります。

9 善悪のけじめをつけよう

・人として「あたりまえ」のこと（良いこと・悪いこと）を、「あたりまえ」に伝えていきましょう。
・話を聞く態度が身に付くと、集中力が増し、望ましい学習態度や学習意欲につながります。

10 家族・地域へのふれあいを大切にしよう

・一緒に食事、一緒に遊び、一緒にお風呂、どれもうれしいことです。
・地域も大切なふれあいの場、地区行事にも進んで参加しましょう。心豊かな育ちにつながります。



大人にとって故郷は
過去の思い出だが
子どもにとっては
現在であり
未来である

今仲間や
地域の人たちと
何をしたかが
やがて大人になつて
故郷になる